

# ウクライナの少女「長崎の鐘」を歌う

～チェルノブイリ原発事故から32年～

◆日時：2018年 **8月25日(土)** **13:45**開演～16:00終演予定

◆会場：長崎市立図書館 新興善メモリアルホール  
長崎市興善町1-1 tel:095-829-4946

◆プレゼンター：井原東洋一（外務省 非核特使）

1986.4.26 01:23、ウクライナ（旧ソビエト連邦）のチェルノブイリ原子力発電所4号炉で起きた事故は、最悪のレベル7（深刻な事故）となった。それから25年後の2011.3.11、日本の東北地方を襲ったマグニチュード9.0の大震災により東京電力福島第一発電所のメルトダウンが引き起こされ、これまたレベル7の原発事故となった。



1991年にソ連が崩壊し独立したウクライナは、世界で3番目に原爆を保有する国となったが、その後すべて廃棄したという。チェルノブイリと福島そして広島・長崎。核を巡る共通点は多く、互いに学ぶことが多い。

チェルノブイリ事故から32年、広島・長崎・福島と長く平和交流を重ねてきた非核特使・井原東洋一氏が、ウクライナとベラルーシを訪ね、原発事故犠牲者の慰霊祭で講演し、原発の作業員と討論し、子供たちに「戦争のない、核におびえることのない平和な社会を作るのは、皆さんの一人ひとりの手の中にあるのだ」と訴えた。

原爆と原発、その現実と今後を共に考えたい。

◆音楽コーナー：井上周子

（いのうえ ちかこ リュート奏者）

◆定員：100名（先着順で締め切り）

◆資料代：500円

◆主催：長崎アートプロジェクト（ナヘア）

◆協力：アジェンダNOVAながさき  
長崎県被爆者手帳友の会

◆お申し込み：

長崎市桶屋町52 アイ・コスモス内

TEL & FAX：095-825-0341

携帯：090-3668-9824（井原）



東京音楽大学卒業後、渡仏。リヨン国立高等音楽院にて博士課程修了。在仏中より音楽祭に出演するなど活躍する。帰国後は各地での演奏活動のほかに、セミナー等に招聘される。ルネサンス・バロックや中世の音楽、ワールドミュージックを取り入れた音楽など4枚のCDをリリース。従来の古楽器の演奏スタイルを踏襲しつつ、ジャンルに捉われない音楽作りをしている。

